

環境変化に対応した経営基盤の強化

当社グループでは、創始者中島董一郎の「食を通じて社会に貢献する」という想いを受け継ぎ、事業や社会貢献活動を展開してきました。

一方で、ライフスタイルや環境の変化により、様々な食に関わる課題が表面化しています。今後も社会や市場環境の変化が予想される中、変化への対応力を高めるとともに、多様な人材の活躍をめざして、「ダイバーシティの推進」に

取り組んでいます。そして、事業活動と合わせ「ESGの取り組み」の効果を高めることで、2019-2021年度中期経営計画を通じて、経営基盤の強化を図ります。

ダイバーシティを成長戦略の土台として、対応すべき社会課題を設定し、事業を通じて課題解決することで、持続可能な社会の実現への貢献と当社グループの持続的な成長(サステナビリティ)をめざします。

サステナビリティに向けての重点課題

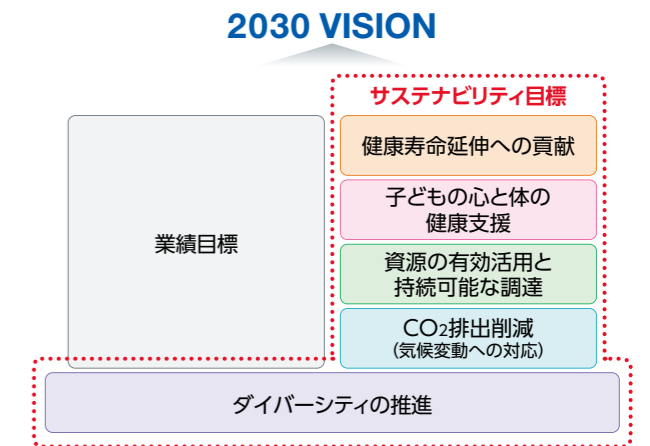
サステナビリティに向けて、当社グループが優先して取り組むべき重点課題を設定しました。

重点課題	SDGsとの関連づけ	私たちの想い	課題解決ストーリー	サステナビリティ目標
健康寿命延伸への貢献	2 健康をせよに、3 長寿と健康	高齢になっても元気で過ごせる社会に貢献します	● サラダ(野菜)と卵の栄養機能で、生活習慣病予防や高齢者の低栄養状態を改善します	サラダとたまごのリーディングカンパニーとして ● 1日当たりの野菜摂取量の目標値350g*の達成に貢献する ● たんぱく質の摂取に貢献するために、卵の消費量アップを推進する *「健康日本21」(厚生労働省)に定める成人1日当たりの野菜の平均摂取量の目標値
子どもの心と体の健康支援	1 貧困をなくそう、4 質の高い教育をみんなに	食を通じて子どもの心と体の健康を支え、未来の活躍を応援します	● サラダ(野菜)と卵を活用した食育や共食の体験の場を提供します ● 子どもや子育て家族への食を通じた支援により、子どもと家族・社会とのコミュニケーションを応援します	● 2030年までに、グループの食育活動などで接する子どもの笑顔の数を、100万人以上にする(2019年からの累計)
資源の有効活用と持続可能な調達	2 健康をせよに、12 つくばないで、15 陸の豊かさも守ろう	自然の恵みに感謝し、地球の持続可能性に配慮します	● 食資源を余すことなく有効活用し、食品廃棄を削減します ● 農業生産者との取り組みで、持続可能な農業を支援します	● グループで利用する主要な野菜の未利用部について、2021年までに30%、2030年までに90%以上を有効活用する ● 商品廃棄量を2021年までに25%、2030年までに50%削減する(2015年対比)
CO2排出削減(気候変動への対応)	13 気候変動に具体的な対策を	地球温暖化防止の実現に向け、CO2排出削減に取り組めます	● 原料調達から商品の使用・廃棄まで、サプライチェーン全体を通じたCO2排出削減を実現します	● グループの年間のCO2排出量について、2021年までに7.5%、2030年までに20%削減する(2013年対比)
上記に加え、グループの成長戦略の土台として下記を推進				
ダイバーシティの推進	5 ジェンダー平等を推進しよう、8 働きがいも経済成長も	理念に共感するグループの一人ひとりが、互いを受容し、学びあい、持続可能な社会とグループの成長をめざします	● 新しい働き方を創出し、多様な人材が働きやすく成長できる環境をつくり、新たな社会価値を生み出します	● 女性管理職比率を、2021年までに12%、2030年までに30%にする(キユーピー単体)

サステナビリティ目標 ~2030ビジョンの達成をめざして~

当社グループでは、新たに「サステナビリティ目標」を設定しました。サステナビリティ目標は、社会と企業の持続的な成長に向け、当社グループとして取り組む内容を指標化しています。5つのテーマに分かれており、それぞれ「サステナビリティに向けての重点課題」とも呼ばれたものです。

サステナビリティ目標達成への取り組みは、財務指標である業績目標と並行して進めます。それぞれ両輪で達成することで、長期ビジョンである「キユーピーグループ 2030ビジョン」の実現につなげていきます。



Topics 健康経営への取り組み

当社グループでは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献することをグループのめざす姿勢とし、この考え方のもと、従業員一人ひとりの健康意識の向上に向けて、健康経営の風土づくりを進めています。

- ホワイト500の取得：当社は、2年連続で「健康経営優良法人」(ホワイト500)の認定を受けました。2016年度より健康経営への取り組みを開始し、経営層を含む従業員が個々に掲げた健康目標を実行して年度末に振り返りを行う「私の健康宣言」や、運動の習慣化に向けたイベントなどを実施しています。また、健康保険組合主催のヘルスアップキャンペーンにも会社を挙げて取り組んだ結果、2016年は13%弱だった目標達成率が、2018年には44%と飛躍的に向上しました。



Message



取締役 常務執行役員 (経営推進本部、広報・CSR本部、人事本部、ロジスティクス本部およびリスクマネジメント担当) 井上 伸雄

創業100周年を機会に、持続可能な社会への貢献と当社グループの成長をめざし、「サステナビリティに向けての重点課題」を設定しました。社会環境が大きく変化する中で、経営基盤のさらなる強化に努め、将来リスクに対応し、グループ全体で事業機会につなげていきます。

外部評価

ESG・SRIインデックスへの選定

